

発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室
〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX 04-7185-1520

我孫子の偉人をたどる 文学散歩

我孫子市はさまざまな偉人が関わる土地です。文人や芸術家をはじめとする多くの人々が居を構え、文化活動が営まれました。市制施行50周年を機に、我孫子を愛し我孫子のために尽力した先人たちのゆかりの地を巡りませんか。

杉村楚人冠記念館

新聞界の先覚者

杉村楚人冠

明治5(1872)年～
昭和20(1945)年

近代日本のジャーナリズムの発展に多大な貢献をした国際的ジャーナリスト。名随筆家、俳人でもあります。我孫子ゴルフ倶楽部の創立にも尽力しました。



▲杉村楚人冠記念館(サロン)



▲令和元年12月3日に撮影された「紅紗蓮寺」



杉村楚人冠記念館には、楚人冠が愛したツバキのコレクションがあります！11月～4月ごろまでさまざまな種類のツバキが咲いています。

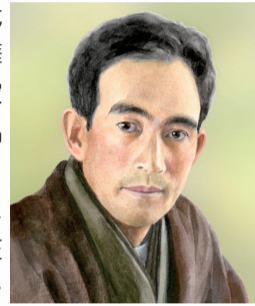
志賀直哉邸跡

小説の神様

志賀直哉

明治16(1883)年～
昭和46(1971)年

大正・昭和時代の小説家で、「白樺派」を代表する作家の一人。主な作品である『暗夜行路』『和解』『城の崎にて』などは我孫子在住時に執筆しました。唯一の長編小説である『暗夜行路』は近代日本文学の代表的作品です。



▲志賀直哉邸跡

旧村川別荘

日本の西洋史研究の先駆け

村川堅固

明治8(1875)年～
昭和21(1946)年

日本で初めて西洋史を研究。嘉納治五郎の教え子。「住食衣主義」を提唱し、住まいを重視した彼の別荘が今も残っています。



秋は紅葉がきれいです！

旧村川別荘▶



瀧井孝作仮寓跡 (寿古墳公園)

小説家、俳人

瀧井孝作

明治27(1894)年～
昭和59(1984)年



▲寿古墳公園(瀧井孝作仮寓跡) 志賀直哉が住んでいた我孫子に転居し、小説『無限抱擁』を書き上げました。

我孫子市役所

野口英世の育ての親

血脇守之助

明治3(1870)年～
昭和22(1947)年

歯科医師で、明治後期から昭和初期にかけて日本の近代歯科医療制度の確立に尽力。日本歯科医師会会長。東京歯科大学の創立者の一人。一般の医者から独立した「歯科医」を世間に広めました。



我孫子尋常小学校時代の恩師である杉山英校長に感謝をして伽羅の木を贈りました。その木は現在、我孫子市役所にあります。また、「血脇守之助碑」が手賀沼公園内に、生誕の地である我孫子宿旅館「かど屋」跡地(緑2の1)には説明板があります。



▲市役所にある伽羅の木

三樹荘跡

民衆芸術の発見者

柳宗悦

明治22(1889)年～
昭和36(1961)年



▲三樹荘跡(敷地内は非公開)



暮らしとともに息づく手仕事の中に美を見出し、「民衆的工芸品」を評価する民藝運動を興した思想家。我孫子に文人たちを呼び寄せ、白樺派の興隆に大きな役割を担いました。

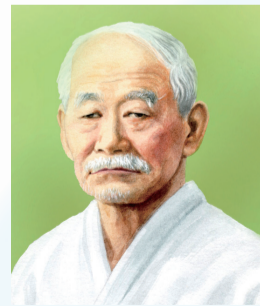
嘉納治五郎別荘跡

柔道の父、日本体育の父

嘉納治五郎

万延元(1860)年～
昭和13(1938)年

講道館柔道の創始者。日本古来の柔術を「柔道」として確立、普及に努めました。東京高等師範学校などで校長を務め、教育にも力を注ぎました。東洋人初の国際オリンピック委員会(IOC)委員。我孫子尋常小学校(現我孫子第一小学校)では講演会が行われ、今も嘉納の書が残されています。



▲嘉納治五郎別荘跡地にある「嘉納治五郎先生之像」